

進んで挨拶し、よりよい校区づくりに努める生徒の育成

ねがい

〈目的〉

相手を思いやる温かい心を育み、良好な人間関係を深め広めるさわやかな挨拶を校区内に広め、互いに支え合い助け合う健全な地域づくりに努力する児童生徒を育てることにしました。

つながり

〈内容〉

● 挨拶運動推進校区会議の開催

西中学校生徒会が校区内小学校児童会に呼びかけ、夏休み中に挨拶運動校区推進会議を開催し、挨拶運動の輪を家庭や地域に広めるための啓発活動の具体的な取り組みについて話し合いました。その結果、今年度中に西中校区独自の挨拶啓発ポスター、キャッチコピー、イメージキャラクター等のアイデアを各小中学校で考えることになりました。

● 小中連携による母校での挨拶ボランティア

お世話になった母校の小学校に感謝の気持ちを持ち、挨拶を通して後輩との心の交流を深めるために西中学校の1年生が、2学期に2回母校に出向き、小学生と協力しながら挨拶ボランティアに取り組みました。

第1回目の9月には、県全体で取り組んでいる「さぬきっ子あいさつ運動」に協力し、西中校区内に挨拶運動の輪を広める第一歩として活動を進めました。この活動には、中学1年生の44%の人が進んで参加し、挨拶を通して母校の後輩との心の交流を深めました。

第2回目は、各校で人権について深く考える活動に取り組む12月に実施しました。相手を思いやる温かい心を育み、良好な人間関係を深め広める役割を果たす挨拶は、人権月間にふさわしい活動の一つです。今回の活動には、中学1年生の60%が参加しました。

● 子どもの意欲を高める評価の実施

活動に進んで参加した児童生徒の努力を認め、今後の活動への意欲を高めるために、学校通信や集会の際の講話等を通して参加した児童生徒を大きく賞賛しました。



【第1回挨拶ボランティアの様子(西部小)】



【第2回挨拶ボランティアの様子(吉原小)】

高まり

〈成果〉

活動に参加した児童生徒のアンケート結果等を見ると、お世話になった小学校の先生や後輩との再会に感動したり、挨拶を通じた心の交流のよさを実感したりするなど、挨拶の心地よさや人と人とのつながりの大切さを学んだことがうかがえました。

小中連携を支える今回の取組を今後も大切に、児童生徒の健全育成に努めたいと考えます。